



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 関西ペイント株式会社

上場取引所 東

コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 吉田 一博

TEL 06-6203-5531

四半期報告書提出予定日 2020年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	311,472	4.3	26,440	6.5	29,447	5.3	16,234	3.2
2019年3月期第3四半期	325,631	9.2	24,815	14.2	27,956	13.3	16,766	7.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 13,674百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 3,810百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	63.14	57.50
2019年3月期第3四半期	65.19	56.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	555,265	324,281	49.2
2019年3月期	584,135	320,661	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 273,456百万円 2019年3月期 270,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		16.00		14.00	30.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期中間配当金の内訳 普通配当14円00銭 創立100周年記念配当2円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	2.9	36,500	13.0	41,500	19.1	22,500	29.3	87.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	272,623,270 株	2019年3月期	272,623,270 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	15,538,646 株	2019年3月期	15,480,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	257,113,368 株	2019年3月期3Q	257,198,880 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は、地政学的リスクの高まりが継続し、各国の政治・政策・通商問題の動向など依然として先行き不透明な状況が続いております。そのような状況下、欧州や中国及びその他のアジア新興国では弱さが見られますが、米国の個人消費や政府支出に支えられ、鈍化しているものの総じて緩やかな回復が継続しました。わが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善を受け、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は3,114億72百万円（前年同期比4.3%減）となりましたが、営業利益は原材料価格の下落や販売費及び一般管理費が減少したことなどから264億40百万円（前年同期比6.5%増）となりました。経常利益は為替差損の増加などにより、294億47百万円（前年同期比5.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券及び関係会社株式売却益が減少したことなどから162億34百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

《日本》

自動車分野は、新車用分野では自動車生産台数が前年を下回ったものの、シェア獲得に努めたことから国内向け売上は僅かながら増加しました。しかしながら、輸出が減少したことから、全体として売上は僅かながら前年を下回りました。工業分野では、堅調に推移していた自動車部品向け塗料や産業機械向け塗料などが下期に入り低調に推移したことにより、売上は前年を下回りました。建築分野及び防食分野では、市況が堅調に推移するなか、売上は前年を上回りました。船舶分野では、修繕船を中心に回復が見られるものの、売上は前年を僅かながら下回りました。自動車分野（補修用）では、市況が低調に推移するなか、高付加価値製品の拡販に努めましたが、売上は前年を下回りました。

これらの結果、売上高は1,174億62百万円（前年同期比1.7%減）、経常利益は144億20百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

《インド》

自動車分野では自動車生産台数の減少が続き、売上は前年を下回りました。建築分野では需要拡大継続のもと販売活動の促進に取組み、売上は前年を上回りましたが、自動車分野での売上の減少の影響が大きく、当セグメント全体では、売上は前年を下回りました。原材料価格が安定的に推移したこともあり、現地通貨ベースでは利益は増加しましたが、円貨ベースでの業績は為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は655億75百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は88億77百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

《アジア》

中国においては、自動車生産台数が前年を下回るなか、主要顧客の需要が伸びたものの、自動車分野での売上は前年を下回りました。工業分野では、建設機械向け塗料において、主要顧客の需要が減少し、売上は前年を下回りました。これらの結果、中国全体での売上は前年を下回りました。インドネシアにおいては、景気の減速感が強まるなか自動車生産台数が前年を下回り、自動車分野での売上は前年を下回りました。タイにおいても、自動車生産台数が前年を下回り売上は前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は447億51百万円（前年同期比6.9%減）となりました。原材料価格が下落し、販売費及び一般管理費が減少したものの、中国の持分法投資利益が減少したことなどから、経常利益は41億5百万円（前年同期比16.0%減）となりました。

《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済が低迷するなか、引き続き販売活動の促進に努めました。原材料価格は下落しているものの、通貨安が継続していることや、価格競争の激化などから、収益は大きく圧迫されました。

これらの結果、当セグメントの売上高は266億81百万円（前年同期比10.3%減）、経常損益はのれんの償却を含め経常損失19億52百万円（前年同期比 - %）となりました。

《欧州》

トルコでは、現地通貨ベースでの売上は伸長しましたが、通貨安による原材料価格への影響等が収益を圧迫しました。一方、国内景気の低迷を受け、建築分野での需要の低迷が継続したものの、持分法投資利益は増加しました。その他欧州各国においては、工業分野が堅調に推移し現地通貨ベースでは売上は増加しました。しかしながら、為替換算による押し下げの影響を受けました。

これらの結果、当セグメントの売上高は524億8百万円（前年同期比6.8%減）、経常利益はのれんの償却を含め31億2百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

《その他》

北米では、工業分野において自動車部品向け塗料などの拡販に努め売上は伸長し、また、持分法投資利益も増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は45億92百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益は8億94百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、2,424億45百万円（前連結会計年度末比237億26百万円減）となりました。流動資産の減少は、主に1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債の償還による現金及び預金の減少などによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,128億20百万円（前連結会計年度末比51億42百万円減）となりました。固定資産の減少は、主にのれんなどの減少によるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,201億53百万円（前連結会計年度末比376億56百万円減）となりました。流動負債の減少は、主に1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などの減少によるものであります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、1,108億30百万円（前連結会計年度末比51億66百万円増）となりました。固定負債の増加は、主に長期借入金などの増加によるものであります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,242億81百万円（前連結会計年度末比36億20百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2019年5月10日発表の通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,614	49,490
受取手形及び売掛金	112,486	113,039
有価証券	3,148	6,266
商品及び製品	37,549	34,041
仕掛品	5,569	5,969
原材料及び貯蔵品	26,121	24,350
その他	9,758	12,365
貸倒引当金	△3,076	△3,077
流動資産合計	266,172	242,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	55,100	57,227
その他(純額)	72,344	70,852
有形固定資産合計	127,444	128,079
無形固定資産		
のれん	39,782	34,210
その他	27,544	24,928
無形固定資産合計	67,327	59,138
投資その他の資産		
投資有価証券	84,032	90,254
その他	46,763	43,340
貸倒引当金	△7,604	△7,993
投資その他の資産合計	123,190	125,601
固定資産合計	317,963	312,820
資産合計	584,135	555,265

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	71,140	63,198
短期借入金	12,135	19,657
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	40,126	-
未払法人税等	4,219	1,987
賞与引当金	4,864	3,428
債務保証損失引当金	2,219	2,191
その他	23,103	29,689
流動負債合計	157,810	120,153
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,160	60,123
長期借入金	8,434	10,864
退職給付に係る負債	8,607	8,983
その他	28,461	30,859
固定負債合計	105,664	110,830
負債合計	263,474	230,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	22,342	22,438
利益剰余金	237,721	246,468
自己株式	△25,537	△25,649
株主資本合計	260,185	268,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,876	33,886
繰延ヘッジ損益	622	△1,551
為替換算調整勘定	△21,439	△28,694
退職給付に係る調整累計額	770	898
その他の包括利益累計額合計	9,831	4,540
非支配株主持分	50,644	50,825
純資産合計	320,661	324,281
負債純資産合計	584,135	555,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	325,631	311,472
売上原価	224,684	211,996
売上総利益	100,946	99,476
販売費及び一般管理費	76,131	73,035
営業利益	24,815	26,440
営業外収益		
受取利息	1,021	523
受取配当金	1,624	1,630
持分法による投資利益	2,923	3,175
雑収入	798	1,606
営業外収益合計	6,367	6,937
営業外費用		
支払利息	1,401	1,344
たな卸資産廃棄損	240	169
貸倒引当金繰入額	797	27
為替差損	302	1,575
雑支出	485	814
営業外費用合計	3,226	3,930
経常利益	27,956	29,447
特別利益		
固定資産売却益	39	47
投資有価証券売却益	1,174	105
関係会社株式売却益	855	-
子会社清算益	31	8
特別利益合計	2,100	160
特別損失		
固定資産除売却損	356	718
関係会社出資金売却損	-	39
投資有価証券評価損	16	0
災害による損失	140	31
早期割増退職金	410	-
事業撤退損	-	28
特別損失合計	923	817
税金等調整前四半期純利益	29,133	28,790
法人税等	9,360	8,539
四半期純利益	19,773	20,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,006	4,016
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,766	16,234

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	19,773	20,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,641	3,378
繰延ヘッジ損益	547	△2,173
為替換算調整勘定	△11,065	△6,517
退職給付に係る調整額	△132	128
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,291	△1,392
その他の包括利益合計	△23,583	△6,576
四半期包括利益	△3,810	13,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,761	10,943
非支配株主に係る四半期包括利益	△49	2,730

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外関係会社において、IFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	119,527	67,584	48,080	29,733	56,237	321,163	4,468	325,631	-	325,631
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	11,527	44	2,590	240	80	14,483	0	14,483	△14,483	-
計	131,054	67,628	50,671	29,974	56,317	335,647	4,468	340,115	△14,483	325,631
セグメント利益または損失 (△)	14,341	9,007	4,885	△2,900	2,055	27,389	566	27,956	-	27,956

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	アジア	アフリカ	欧州	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	117,462	65,575	44,751	26,681	52,408	306,880	4,592	311,472	-	311,472
(2) セグメント間の内部 売上高または振替 高	9,929	49	2,192	233	84	12,488	-	12,488	△12,488	-
計	127,391	65,625	46,943	26,915	52,493	319,369	4,592	323,961	△12,488	311,472
セグメント利益または損失 (△)	14,420	8,877	4,105	△1,952	3,102	28,553	894	29,447	-	29,447

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益または損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域

インド……インド、ネパール、バングラデシュ等

アジア……タイ、中国、インドネシア等

アフリカ……南アフリカ、ジンバブエ、ウガンダ等

欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア、ルクセンブルク等